

KURU 鯉 恋こい

Nursing

～ 50回生 卒業式 ～



学校長あいさつ



第50回生の皆さん、先日の卒業式は感動的でしたね。また、同日夜の謝恩会では、皆さんの晴れやかな姿と表情が印象的でしたし、皆さんのやさしい心根と担当教官への感謝の気持ちが随所に表現されていて、参加者すべてがそれぞれの催しを心から楽しんでいました。私が皆さんに送った言葉“竹有上下節”の意味を心に刻み、“愛”を意識した看護を目指して今後も引き続いて頑張ってください。応援しています。

国立病院機構呉医療センター附属呉看護学校 学校長
呉医療センター・中国がんセンター 院長
谷山 清己



戴帽式

10月9日、戴帽式が行われました。

入学式のときよりも、一人ひとりの顔つきが凛々しくなった気がします。戴帽式では、家族や先生、先輩方から温かい祝福の言葉を頂き、周囲の方々に支えられている実感しました。

その事に感謝しながら、日々成長していきたいと強く思いました。

戴帽式を終えて、改めて同じ目標を持つ仲間と共に、誠実な態度で学んでいきたいと思いました。

戴帽式後、1年生全員で
集合写真を撮りました☆



52回生 誓いの詞

- 一、私たちは、同じ目標を持つ仲間と力を合わせ、より多くの知識と確かな技術を身につけ誠実な態度で学んでいきます。
- 一、私たちは、身体的、精神的、社会的な側面から対象および家族を理解し、その人らしく生きていくことを支援することができる看護師になります。
- 一、私たちは、看護師を目指すとともに ひとりの人として成長し続けることができるように日々努力していきます。



三井 直也

2年生は学校全体を引っ張る中核であり、責任が大きくなります。勉強・行事・実習の辛さ・責任の重さに挫けることもあると思います。一人では出来ないことがあります。しかしそれは同時に仲間となら乗り越えられるということです。この一年間で築き上げた52回生の「絆」を発揮し、みんなで歩んでいきたいです。



安食 祐希

1年間で様々な行事やテストをみんなで乗り越えてきました。実習ではそれぞれが自分の課題を見つけ、今後の目標がはっきり見えてきました。その目標に向け52回生みんなで成長していき、後輩のお手本となる人になっていきたいと思えます。

災害看護学演習



Aクラスは3/1、Bクラスは3/2に技術研修センターで災害看護学演習の授業がありました。携帯電話を用いて、全員で1つのホームページにログインし、ネット上で意見交換をしながら学んでいくという、これまでにない授業でとても新鮮でした。

患者さんの急変時の全身状態の観察として、意識レベルや呼吸状態の判定問題に取り組んだり、さまざまな方法で呼吸数・脈拍数を測定しました。授業での学びを今後の実践力につなげていこうと思います。

49回生卒業記念花壇



祈

国試当日、50回生に
エネルギーを送ります

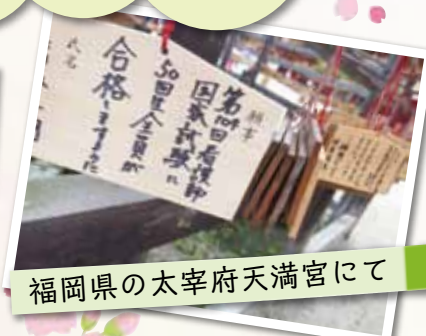


ぶ、分厚い…！！



50 回生卒業します。

支えてくださった皆様、ありがとうございます。



福岡県の太宰府天満宮にて

この3年間、沢山の方に
支えられて成長できました。
4月からはさらにパワーアップ
してもっともっと成長します！
ありがとうございました☆





も行っています

和楽



実習後の打ち上げは恒例！！
実習メンバーで、ぱーっと食べのみ☆
精一杯頑張ったごほうびです。

和民



より仲が深まります。リフレッシュ♪

お好み焼き
めいじ



市役所



編集後記

呉看護学だよりの第6号を発行することができました。
あっという間の1年間、皆で協力し過ごすことができました。
これからも頑張っていきます。

編集長：天野志保

編集委員：1年生：安食祐希、川平真穂、佃由紀子、藤川梓

2年生：野地ひかり、山本梨加、藤原圭祐、原遼

3年生：秋山有捺、市川嵩子、岩永千明、上野一明、加門正光、白石知永
本谷さくら



独立行政法人国立病院機構

呉医療センター附属呉看護学校

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1 TEL.(0823)22-5599/FAX.(0823)22-5646

URL <http://www.kure-nh.go.jp> E-mail kuregaku@sc.kure-nh.go.jp